

蘆花記念公園グランドデザインプロジェクト（長柄桜山古墳を含む）  
 第一回ワークショップの概要

- 日時 令和6年5月18日（土）9時30分～12時20分
- 市民の参加者 24名



1. 概要説明（9時30分～9時45分）

3月17日に行った現地見学会での説明を要点を絞って断片的に振り返りました。

追加の説明事項として、検討の前提条件として旧野外活動センターに至るまでのアクセス道路は新たな整備することは困難であり、現状の中でどう活用できるかを考えていただきたい旨を伝えました。また、各建物を改修した場合の工事費の目安を示しました。

意識していただきたい視点

- ・ 逗子市の魅力創出
- ・ 市民の満足度向上  
 (利用者・地域住民)



土台として、整備には国などの補助金、民間企業の出資が得られるようなグランドデザインを描く必要があります。

観光やデジタル推進などの観点も重要です。また、維持していくためには稼げるアイデアが必要です。

2. 事例紹介（9時45分～10時20分）

今回のプロジェクトのコンサルタントである（社）全国古民家再生協会 井上幸一（総務省地域力創造アドバイザー）より、国の動向や利活用の考え方、全国の活用事例等の説明を行いました。

「公共」を、誰がどう担い、  
 どのようにすればサステナブルなカタチで  
 「みんなが大切に思っている価値」を守り、  
 育てていくことができるのが、  
 いま新たに世界中で大きな議論的となっています。



地域経済共生圏 (令和6年6月15日改正)



### 3. グループワーク

4グループに分かれ2つのテーマについてグループワークを行いました。なお、多様な考えを持った方々と意見を交換するため、来場順に整理券をランダムに配り意図的なグループ分けにならないよう配慮しました。

#### グループワーク1「SWOTによるエリアブランディング」(10時20分～11時15分)

①ポストイットの記入(10分間) ②意見交換(25分間) ③成果発表(10分間)

逗子海岸周辺を含む桜山エリア(蘆花記念公園、長柄桜山古墳)の現在の強みと弱み、住民の生活や来訪者が観光するうえでの機会と脅威についてポストイットに記入し、意見交換を行い、最後に各グループ1名による発表を行いました。それを後日分析し、別紙のとおりエリアブランディング(案)をまとめたので、第2回ワークショップではブラッシュアップしていきたいと考えています。



#### グループワーク2「施設別の利活用検討」(11時20分～12時20分)

①ポストイットの記入(10分間) ②意見交換(25分間) ③成果発表(10分間)

「旧脇村邸」「旧郷土資料館」「旧野外活動センター(第1, 2休憩所含む)」「その他」の4シートを用意し、賛成意見は青、慎重意見は黄、反対意見は赤、新たな提案は緑のポストイットに記入し、意見交換を行い共感した事項は右欄に移す作業を行ない、最後に各グループ1名による成果発表を行いました。(成果は別紙参照)

ただし、運営側の説明不足や時間不足もあり、正確に意見が色分けされているかや右欄に移されたポストイットがグループ内で共感されていたのかは定かでないため、さらなる意見集約の機会が必要と考えています。

